

面接室は 5 室あり、教頭先生とアシスタントのいる部屋を指定され入室。

<本人>名前、滞在歴、滞在国、志望理由、入学したら何をしたいか、滞在国の紹介と印象に残っているところ、今までに行ったことのある国、興味のある事とその具体的な内容などを聞かれた。関東学院の事についての説明（学校のイメージカラーや部活の事）や雑談などもあった。面接官は 2 人とも優しいイメージで、話を真剣に聞いてくれた。

<保護者>子供が海外生活の中で成長したこと、海外ではどんな生活スタイルだったか。

7. 小論文試験の傾向と感想

試験が始まると、作文のテーマがあらかじめ書かれた作文用紙が配られた。

テーマ：「新しい生活（と聞いて思い浮かぶこと）」試験時間：50 分。見直しをする余裕はあった。

試験管が 10 分おきに残り時間を言うてくれたので、時間の管理はしっかりできた。

8. その他

9. 自分の受験勉強法

作文で出そうなテーマを考え、自分なりに構成を書いて暗記する。特に海外生活に関するテーマは授業で実際に書いていたので、細かい内容や主張まで覚える。そうすることで、自分の意見を整理してきた。

10. 学校生活の感想、アドバイス

11. ELC での体験、感想

授業を受けると、自分の弱点と解決策が明確になるので、かなりの進歩が得られた。

また、授業で書くテーマは実際の試験に出やすいので（自分の場合も授業で書いたテーマとほぼ同じものが出た）、授業を受けて明確になった主張や具体例を覚えておくと非常に有効だった。

12. 後輩へのメッセージ

絶対的に言えることではないけれど、自分の弱点、主張、体験、を覚えておくと、作文を書くときに非常に構成を立てやすくなる。

13. その他